

ストップ！川内原発再稼働 311Km リレーデモ日記

2015年5月20日

デモ5日目（あと151Km）

水俣の方々、20名の見送りとデモ参加 今夜は八代市到着。反核・平和行進に参加



▲「九条の会八代」の60名のデモに参加

八代の人達には、「来るんだったら一緒に闘え」、という当たり前の原則を改めて教えられた。課題その一は、「戦争法案反対」の集会とデモへの参加。とはいえ押しかけ部隊にも発言の機会を与えていただき、スローガンに「川内原発再稼働反対」が加わった。

●反戦平和を、ちゃんと訴えることの重要性

デモの代わりに交流会は無し。それでもデモの最中、最後尾の女性たちといろいろおしゃべり。シャッター通りになっているアーケード街のこと。若者の行動参加が減っていること——悩みは薩摩川内市と同じだ。経済の一極集中、地方の切り捨てのなせる技だ。安倍の「成長は地方から」というポスターが白々しい。

明日は課題その二、八代市長への申入れの

イベントがある。原発事故時の避難問題と、自治体首長としての「九電主催の説明会」要求、「再稼働反対」表明が中心テーマだ。

水俣駅で、見送り集會に20名が参加

昨夜の交流会は盛大だった。それでも、翌朝の出発集會にほぼ同じメンバーが参加してくださるとは意外だった。大感激。

水俣からの道は峠が多い。歩道は狭く、舗装は劣悪。車椅子を押す人のご苦労を随行車の運転席から見て、恐縮この上ない。皆さんには一山、山道を踏破してもらった。

本当にありがとう、水俣の皆さん。



▲お別れの津奈木駅にて記念写真

★同じ津奈木地域、峠道の各戸ビラまきの最中のこと。おばさんに「ご苦労さん」と、名物のちくわを1本ずつ握らせられた。これも感激。